

森のまなび舎

～事業ビジョン～

平日日中の時間、家庭と学校以外の「子どもたちが安心して、自分らしく過ごし、自分自身の学ぶ意欲と向き合うことのできるもう一つの居場所」をつくることを目指しました。活動をサポートする専任のコーディネーターと共に、森の冒険ひみつ基地を拠点に自然や様々な年齢の人とふれあいながら、以下の三つを大切に活動しました。

NPO法人備前プレーパークの会

一人ひとりの 自分の時間とまなびを尊重

今、その子自身が大切にしたいことを見つめ、その子自身が選択し、経験できるようにサポートする。

人や自然とつながりながらの まなびをサポート

年齢や立場の異なる人たちと、移りゆく自然の中で生まれる「知りたい」「やってみたい」「学びたい」を共有する。

みんなで 少しずつ創っていきける場所に。

子どもたち、保護者の方、スタッフ地域の方、みんなで話し合い、森のまなび舎をつくる。



実施 内容

- (1)事前説明会：8月1日,19日,27日の3日程で実施
- (2)居場所づくり:9月より毎週木曜日10:00-15:00at「森の冒険ひみつ基地」
参加費1日1,000円 登録者数5名(スタッフ2名) 日程数計24回
- (3)保護者向け講習会:10月28日(水)10:00-11:30 参加者10名

成果

- (1)多様なニーズを持つ子どもたち一人ひとりに合わせた居場所となることができた。
 - ・小集団の中で協力して活動を行い、コミュニケーションを学ぶ居場所になった。
 - ・同年代の友達と集い過ごすことで、復学前の居場所となることができた。
 - ・週1回学校と併用し、家庭や学校ではできない活動を思い切り行い、活力を充電する場所になった。
- (2)説明会・講習会参加家庭からも「ここに行けば居場所がある」という安心感が得られたという声があがった。
- (3)地域と連携して活動することで、地域で子ども達の成長を見守るという連帯意識を向上させることができた。

保護者の声

・まなび舎をはさむことで「学校へ行きたくない！」から「明日頑張っていくー」と変化しています。
・学校ではできない経験をさせて頂いて感謝しております。(グループ内で考えて動くなど)
・思い切りやりたいことに取り組みエネルギーを発散でき、その日は家でも落ち着いて過ごしています。

子どもの声

・友達がいって嬉しい。自分が好きな秘密基地を作れて嬉しかった。スタッフがいてくれて嬉しい。
・とにかく楽しい！
・大好きな場所、楽しい思い出！
・中学生になっても通いたい。

今後に向けて

- (1)子どもたちがやりたいことに終始するのではなく、子どもの興味を拡げ、継続して取り組んでいく活動を行っていくことも重要であることがわかった。
- (2)第3の居場所について、今後も事業継続を望む声が多数あがった。多様な子どもたちに対応するためには、研修を積んだ複数名のスタッフの人員が不可欠であることがよくわかった。
- (3)送迎などの諸般の事情で参加を希望しながらも通うことのできない事例もあった。

上記3点を踏まえ、「①地域連携を深めて支援体制の充実させる②参加のハードルを下げるための取り組みを行う③家庭の相談窓口としての認知向上を図る」を重点課題としながら、次年度も事業を継続したい。